

## 国際シンポジウム

### —沖縄から洞爺湖へ—

### 「人間の安全保障」から見た三大感染症への新たなビジョン

2008年夏、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）設立の契機となった九州・沖縄サミット以来初めて、日本がG8サミットの主催国を務める。この8年の時の流れとともに、世界は大きく変化してきた。特に顕著な変化は、恐怖からの解放、欠乏からの解放を可能ならしめる「人間の安全保障」への関心が飛躍的に増大してきたことである。とりわけ、三大感染症が、世界で最も急を要する人間の安全保障上の課題であり、全世界の、特に開発途上国の個人および地域社会の生命と暮らしを脅かすものであることが、広く認識されるようになってきた。また、かかる感染症が、貧困、飢餓、不平等、暴力などの多様な脅威とも密接に関連していることも一層明らかになってきている。

2002年に設立された世界基金が、グローバルな規模での感染症の蔓延を抑える上で果たしてきた役割は高く評価されている。一方において、その脅威がより複雑化し、広い範囲にわたるとともに、国際機関、民間財団、国際NGOおよび国内NGO、企業、その他多様なアクターとのセクター間の協力を通じた、より効果的な対応の必要性が論議されるようになってきている。また、より効果的な世界規模の感染症対策を可能ならしめるため、三大感染症の爆発的な流行が懸念されるアジアと、いまだ感染の脅威との闘いを続けるアフリカとの機能的な地域間協力を推進する方策の検討も必要になってきている。

以上に鑑み、国際シンポジウム—沖縄から洞爺湖へ：「人間の安全保障」から見た三大感染症への新たなビジョン—を開催する。本シンポジウムは、2008年5月のアフリカ開発会議(TICAD-IV)、7月の北海道洞爺湖サミットに先立ち、三大感染症を初めとする国際保健の課題に対する、人間の安全保障の考え方に基づくより効果的な国際貢献のあり方について検討することを目的とするものである。

日時：2008年5月23日（金）～24日（土）

場所：グランドプリンスホテル赤坂 五色1階「新緑」

東京都千代田区紀尾井町1-2

主催：世界基金支援日本委員会、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、  
外務省

使用言語：日本語・英語（同時通訳）

2008年5月19日現在

国際シンポジウム  
—沖縄から洞爺湖へ—  
「人間の安全保障」から見た三大感染症への新たなビジョン

プログラム

2008年5月23日-24日  
東京 グランドプリンスホテル赤坂

2008年5月23日（金）

9:00 開会セッション [五色、新緑の間]  
モデレーター：山本 正、世界基金支援日本委員会ディレクター；（財）  
日本国際交流センター理事長

開会の辞

森 喜朗、元内閣総理大臣・世界基金支援日本委員会会長

挨拶

福田康夫、内閣総理大臣

9:30-10:00 基調講演  
緒方貞子、独立行政法人 国際協力機構理事長

[10:00-10:15 コーヒー・ブレイク]

10:15-12:30 第1セッション：九州・沖縄サミットから8年の軌跡  
モデレーター：ミッシェル・バルザック、世界基金支援欧州委員会  
会長；元フランス保健・家族大臣  
ミッシェル・カザツキン、世界エイズ・結核・マラリア対策基金  
（世界基金）事務局長（スイス）  
ピーター・ピオット、国連合同エイズ計画（UNAIDS）事務局長  
ジョイ・プマピ、世界銀行人間開発ネットワーク担当副総裁  
コメント：  
フランソワーズ・ヌデイシミヤ、ブルンジ・エイズ評議会事務局  
長  
ナフシア・ムボイ、インドネシア・エイズ委員会事務局長

12:30-14:00 昼食会 [紺青の間]

14:00-17:45 **第2セッション：効果的な三大感染症対策の次なるステップとは～洞爺湖ビジョンに向けて**

モデレーター：クリストフ・ベン、世界基金渉外担当ディレクター

武見敬三、前参議院議員；ハーバード大学公衆衛生大学院  
リサーチ・フェロー；（財）日本国際交流センターシニア・フェロー

ロルフ・コルテ、ギーセン大学医学部教授、世界基金技術評価委員会委員長（ドイツ）

コメント：

メイベル・ヴァン・オランジェ、オープン・ソサエティ・インスティテュート（OSI）国際アドボカシー・ディレクター（英国）  
アルバロ・ベルメホ、国際HIV/エイズ連盟事務局長（英国）

18:00- **宇野治外務大臣政務官主催 夕食会** [赤瑛の間]

特別講演：ビアンス・ガワナス、アフリカ連合（AU）社会問題  
担当コミッショナー

2008年5月24日（土）

9:00-11:45 **第3セッション：地域を超えた多様なアクター間協力の可能性**

モデレーター：ナターシャ・ビリモリア、フレンズ・オブ・ザ・グローバル・ファイト（世界基金支援米国委員会）事務局長

エリザベス・マタカ、国連事務総長アフリカ・エイズ問題特使；  
世界基金理事会副議長

ナフィス・サディク、国連事務総長アジア・エイズ問題特使、  
元国連人口基金事務局長

肖 東楼 (Xiao Donglou)、中国衛生部疾病予防対策局副局長

ブライアン・ブリンク、アングロ・アメリカン社グループ・メディカル・コンサルタント（南アフリカ）

[10:30-10:45 コーヒー・ブレイク]

11:45-12:15 **総括セッション**

モデレーター：山本 正

挨拶 森 喜朗

パネル：

クリストフ・ベン

河野雅治、外務審議官

※シンポジウム終了後、午後2時より6時30分まで、シンポジウム会場「新緑」にて、グローバル・セミナー「地球規模課題である感染症への対応と健康なアフリカ社会の確立～新たなグローバル・ネットワークの構築に向けて」を開催する予定です。